

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会における
自転車競技（ロードレース）コース設定に関する要望書

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の東京開催が決定され、日一日と準備が進んでおりますこと、市民一同心よりお慶び申し上げます。この大会の開催を契機に、スポーツ振興のみならず、地域社会の活性化など様々な取り組みを通して、未来に引き継ぐレガシーにつなげていくことが重要であると考えております。

さて、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会における自転車競技（ロードレース）コースについては、平成25年の立候補ファイル提出時では、皇居外苑をスタートして、多摩地域を周回したのち武蔵野の森公園をゴールとし、途中、多摩市内を通るコースが設定されました。その後、平成27年12月の国際オリンピック委員会（IOC）理事会において、皇居外苑を発着点に都内を巡るコースが承認され、市内を通るコース設定がされますことを市民一同、心から期待しているところでございます。

しかしながら、最近、国際自転車競技連合（UCI）から大会組織委員会に対し、テレビ映りを意識して、富士山が見えるコースへの変更を要望しているとの新聞報道がございました。報道では、国際自転車競技連合が6月にも現地を視察し、最終判断をするとされております。

多摩市民にとって、自転車競技（ロードレース）コースが多摩市内を通ることは、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を間近で見て、体感できるまたとないチャンスであり、そのことを熱望しております。

多摩市は、多摩ニュータウンとして整備された素晴らしい街並みと、多摩丘陵の緑豊かで起伏に富んだ地形を有しております。多摩市内を東西に通る南多摩尾根幹線道路は、今や、多くの自転車愛好家が訪れ、有名な練習コースとなっております。

つきましては、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会における自転車競技（ロードレース）のコース設定にあたりましては、平成25年の立候補ファイル時のものを基本としてご検討いただきたく、格別なご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年6月吉日

多摩市長 阿部裕行

公益財団法人日本自転車競技連盟

会長 橋本聖子 殿